(1)第31号 十和ニュース 平成22年9月号 (2)第31号



Juwa News

十和運送グループ ☆発行☆ 総務人事部 ☆企画編集☆

業務部

🎤 待つ心 ゆずる気持ちで なくす事故

国道294号線脇に建つ本社事務センタービルを 利用し、屋上側面に大きな交通標語横断幕がか けられています。これは当社が、公共事業とし て地域社会に貢献する活動の一環として設置し たものです。

「待つ心 ゆずる気持で なくす事故」

「この言葉は、国道を通る全ての運転手さんに 向け、安全運転を呼び掛けるものです。とりわ け当社の従業員には、スローガンの心をよく理 解し、事故防止に努めてもらいたい」(総務人事 部・小野部長コメント)。なお、県の生活環境部 では、23年度から5年間使用する「交通安全ス ローガン」を募集しています。応募締切りは本年 9月13日迄です。皆さんぜひ応募してください。

本社事務センタービルに大機断幕! 力モミール「さやか」生育状況報告



<水海道支店からのハートフルニュース>

前回7月号でお知らせしましたが、山梨県の小 学校より、はるばる飛来(5月25日)した花の種 (カモミール「さやか」)は、順調に生育していま す。種まき6月5日、芽吹き6月11日、成長①6月 28日、成長②7月21日、成長③8月17日(写真参 照)。残暑厳しく多少夏バテ気味ですが、秋にな れば開花するのではないかと期待しています。 ガンバレ「さやか」!!

主催:陸上災害防止協会常総分会

平成22年度・陸上災害防止協会常総分会は 水海道地区トラック事業協同組合内で、優良 職員・優良運転者の表彰をおこないました。 表彰資格は、同一事業所に10年以上勤務又は 事業用貨物自動車の運転業務に従事し、労働 災害防止活動に寄与した人に贈られました。 皆さんの勤勉さと会社貢献に対して大きな拍

TOPSセンター(優良職員) 津下徳二さん

勤続26年。笠間出身。家族 は夫婦と娘の3人暮らし。趣 味は映画、昔見た青い山脈 は記憶に残っていて懐かし い。笠間は稲荷神社、流鏑 馬、菊祭り等が有名。



勤続12年。41歳独身。 趣味はガーデニング(田ん ぼ4反) やドラマ鑑賞(刑 事物を見ながらチューハ

イを飲むのが最高!) ただいま彼女募集中。

水海道支店(優良運転者)

張替清男さん

〈プロフィール〉

တ္ တ္ တ္ တ္ တ္

みなみ支店(優良運転者) 水野勝好さん

〈プロフィール〉 勤続10年。42歳独身。 趣味は船釣りです。ビッグ なヒラメやアイナメを狙っ て釣行しています。 仕事の面では、これからも 安全運転でガンバリます!



経営理念である目配り、気配り、心配りを念頭に、今後とも十和運送グループの発展に貢献出来る よう一所懸命務めてまいります。

手を贈りましょう。

〈プロフィール>

チャレンジ25官言

私たち十和運送株式会社は、「チャレンジ25キャンペーン」に参加します。 エコドライブ を通じて、地球温暖化防止に努めることを宣言します。





第34回運転者技能競技会(ドライバーコンテスト)開催!

主催:社団法人茨城県トラック協会



(佐藤選手)・(鈴木選手)・(伊澤選手)・(上岡選手)







<運転競技中>

<点検競技中>

平成22年8月7日(土)茨城県トラック協会主催による、第34回運転者技能競技会が、運転免許セン ターにおいて開催されました。当社からは、下記の4名がエントリーし、力を尽くして戦いました。 ≪一般部門≫ 11トンクラス 佐藤有司(水海道支店)

4トンクラス 伊澤浩生(水海道支店) 上岡大(つくば支店)

≪トレラー部門≫ 鈴木隆司(みなみ支店)

この大会の目的は「法規の尊重と運転技能及び整備点検技術の向上を図り、交通事故の防止と環 境負荷の低減に努めさせると共に、トラックドライバーとしての誇りを持たせ、社会的責務を自覚 させる」となっています。この目的に沿って、参加の4名は本大会に向けて約1ヶ月間、毎週土曜日 に集まり、筆記・点検・運転と運転者の基本をしっかりと勉強しました。

競技の結果については、残念ながら入賞等は出来ませんでしたが、十和運送㈱を代表して参加し た四人の闘志あふれる競技姿勢と研鑽努力に対し、大きな拍手を贈りましょう。

成田支店と共に第三事業部部長 岩井利行



月)から4年後のことです。 成田空港の開港は昭和53年5月でした。開港後しばらくは、新空港への乗り入れ便数も少なく、当然 貨物量も少ないので、通関業者も数えるほどしかない時代でした。当時航空一般貨物は、市川市原木 での通関となっており、成田空港では鮮魚、青果、切花、医薬品、動物等の緊急品を取扱っていまし た。当社は冷凍車を使い、成田空港より築地及び地方の卸売り市場、更に養鰻場までの輸送を行って

私は昭和56年2月、当時の成田空港営業所に乗務員として入社致しました。営業所開設(昭和52年10

いました。思えばトラック10台から始まり、現在の38台に至るまで、何度か転機が有りました。 最初は航空手荷物の輸送と仕分け作業を引受けました。それに伴い1300坪の配送センターも新設し ました。その中に冷凍・冷蔵庫(320坪)を設備したのを機に、保管、荷役、配送のトータル物流を荷主 様に提案し取上げて頂きました。冷蔵車の液卵ルート配送でサンヨーエッグ様を獲得した時は、ス タートまで時間がない中、田上社長にお願いして10台の冷蔵車をいち早く設備して頂きました。乗務 員の確保や夜間ルートへの対応など、支店として必要な整備等を進め、現在に至っています。